

個人研修報告書

社会福祉法人明星会 認定こども園 明野保育園
看護師・保健師 久保真実

訪問場所：フランス アビニョン市 part2

予定していた保育園見学の前日、突然用事ができたから受け入れができないと連絡がきた。それまでに何度も時間や場所の確認、見学希望内容や質問事項、通訳の有無などを連絡しあっていたにも関わらずである。保育園は滞在しているホテルから通り一つ隔てているだけの場所で、建物の確認までして準備万端だったのに、本当に残念だった。急遽コーディネーターの方が別の保育園と交渉して下さり、何とか研修にこぎつけた。

【河口純子氏】

フランスでは、アビニョン市で観光ガイドをしている河口純子氏¹⁾に本研修のサポートを依頼した。日本でフランス語を専攻した後さらにフランスに語学留学、留学中にご主人と出会いフランス在住 30 年近くになる。長女は韓国に語学留学中であり、三つ子の長男・次男・三男はそれぞれの道を歩み始めているという。ご主人の出身はモロッコのためお子さんたちの交友関係はアラブ人が多く、ご家庭の中にもアラブを感じさせるインテリアが品よく飾られていた。紹介していただいた保育園はお子さんたちの卒園した場所で、地元の子どもたちのほか、アラブ系・アフリカ系の子どもたちなど多様な家族と一緒に過ごしていた。三男のアディルは中学二年生まではフランス人の友達もいたが、中学三年生になると急にアラブ系の交友関係に限定されてきたという。国籍の違いで嫌な思いをしたというわけではなく、自分に流れるルーツを自覚していったのではと河口氏はおっしゃっていた。

【ベネディクト・テット氏】

フランスでの研修を支えてくださったもう一人のベネディクト・テット氏は、日本に留学経験があり、長く日本企業に勤めていた方である。日本語でも説明が難しい私の研修課題の質問に対し、的確な答えが流ちょうな日本語で返ってきた。現在は都会から離れたブラスという静かな田舎町で、大型犬と 4 匹の猫と一緒に暮らしている。フランスでは本当に多くの人が大型犬を連れていて、レストランでも公共交通機関でも蚤の市でも、ペットの入れない場所はほとんどない。私の研修課題の一つに、子どもたちが「家族」をどう捉えているかの調査があり、ペットが完全に家族の一員として社会に受け入れられていることがよく分かった。



見学できなかった保育園



どこでも家族と一緒に大型犬



見学できた保育園

在園児の出身国アフリカやベトナムの紹介



見学できた保育園の名前は「chapi chapo」（チャッピーチャボ）

名前の由来はフランスの短いストップモーションで、言葉のない子ども向けアニメシリーズ。
フランス人ならだれでも知っているアニメで、主題歌はみんなが口ずさめるという。

参考

- 1) プロヴァンストラベルホームページ <https://www.provencetravel.net/ja>